

# 太陽の女神 オヒデリ

## オヒデリ

神社庁登録なし、祭神 オヒデリ  
所在地 厳原町阿連の山中

**周辺の神社** 雷命神社 (18)

**アクセス** 厳原町阿連集落奥に雷命神社があり、そこから阿連川を遡った山中に祠があります。

### 神社のプロフィール

集落内に雷命神社（番号18）がありますが、祭神の雷命は、旧9月29日（以下、すべて旧暦）に出雲に旅立って不在（神無月）となるため、川上に鎮座するオヒデリを里に迎えます。

11月1日に雷命が戻り、1週間オヒデリとともに暮らし、11月8日に大祭、11月9日に住民総出でオヒデリを川上にお送りする神事（本山送り）が行われます。

この時オヒデリは懐妊しているとされ、雷神・水神・男神である雷命と、太陽神・女神であるオヒデリが和合し、里に豊穰がもたらされる、という古い民俗学の世界が今に伝わります。



### 周辺の雰囲気・環境など

厳原町阿連は対馬の南西部に位置し、西には対馬海峡東水道（朝鮮海峡）が広がり、三方を山に囲まれた半農半漁の集落です。戦後、道路整備が進むまで、ながらく陸の孤島でした。

山中に古い時代の鉱山があり、対馬に亀卜（きぼく。古代の古いの技術）を伝えたときれイカツオミ（雷大臣）が住み、遣唐使のひとりとして唐で修行をした最澄が帰途に漂着するなど、古い歴史と伝承に彩られています。



らいめいじんじゃ

## 雷命神社

**神社番号** 18 式内社

**周辺の神社** オヒデリ

**アクセス** 厳原町阿連の集落奥に鎮座。

### 神社のプロフィール

祭神は古い神イカツオミですが、竜神・水神・雷神などの自然神の性格をもっています。近年、竜巻によりご神木が折れた事例があり、竜巻＝竜神が発生する場所を選んで祭られたのかもかもしれません。